

平成 24 年度 第 1 回事業仕分け委員会 議事録要旨

日 時	平成 24 年 5 月 11 日（金）午後 2 時 30 分～4 時 15 分	
場 所	市役所 西会館 第 35 会議室	
出席者	委 員	小笠原豊子委員、加藤勝美委員、上向宣明委員、河合宏人委員、杉浦光子委員、深津茂樹委員、横山嘉宏委員
	事務局	市長、新井副市長、行革・政策監、経営管理課長、経営管理係長、経営管理係担当
次 第	1 委員委嘱 2 市民憲章唱和 3 市長あいさつ 4 委員の自己紹介 5 委員長の選任について・・・・・・・・・・・・・資料 1 6 事業仕分けについて・・・・・・・・・・・・・資料 2 （1）事業仕分けについて・・・・・・・・・・・・・資料 3～6 （2）安城市の事業仕分けについて及び市による選定事業について ・・・・・・・・・・・・・資料 7 7 議題 事業仕分け対象事業の選定について 8 その他	

1 市長あいさつ

皆様におかれましては、お忙しい中、安城市事業仕分け委員会の委員をお引き受けいただき、心より感謝申し上げます。

各分野においてご活躍されている皆様方に、安城市の事業仕分けにご協力いただけること、大変うれしく思いますし、心強く感じております。

昨年度は、皆様にご協力をいただき、8 月 20 日、21 日の 2 日間で 28 事業に対して事業仕分けを実施いたしました。そこで議論された論点や課題に対しまして、事業・制度のあり方や委託内容の見直しを行うことで、11 事業におきまして、7,068 万円を削減する予定でございます。

今年度は、昨年度の反省を踏まえて、第 2 回目となる事業仕分けを実施いたします。

昨年度は、全ての事業をこの事業仕分け委員会に委ねて選定いただきましたが、市としても問題意識を持ち積極的に事業を選定する必要があると考えまして、今年度は、11 事業を市として選定したいと考えております。

また、事業仕分け当日に、より有意義な議論、有効な判定をいただくために、仕分け人及び市民判定人の方に事前に関連施設の見学を行っていただき、対象事業に対しての理解を深めていただく予定でございます。

このような変更を加えながら、実施に当たっては、国や各自治体でも大変実績のある構想日本からの支援をいただくとともに、委員の皆様のお力添えをいただきながら、実のある事業仕分けを実施したいと考えております。

委員の皆様方には、それぞれのお立場から、貴重なご意見、ご提案を賜り、事業仕分けの対象事業の選定や、仕分け結果に対する各課の考え方についてご審議いただきたいと考えております。

委員の皆様のご健勝・ご活躍をお祈り申し上げまして私の挨拶とさせていただきます。

2 議題

(1) 事業仕分け対象事業の選定について

・事務局説明（経営管理係担当）

本議題の資料7「事業仕分け委員事前選定事業」について説明させていただきます。

委員の皆様には4月16日付けで、対象候補事業一覧173事業の中から10事業の選定の依頼をさせていただき、お忙しい中、ご報告いただきましてありがとうございました。

皆様のご提案を表にさせていただいたものが、資料7でございます。

説明の前に、修正箇所が2点ほどございますので訂正をお願いいたします。

まず、No.16「防犯広報啓発推進事業」市民安全課の事業でございます。職員人件費の欄をご覧くださいと「0」になっておりますが、実際は、4,066「4百6万6千円」でございます。従いまして、総事業費が20,464「2千46万4千円」に訂正願います。

もう一点が、No.107「公園トイレ改修事業」公園緑地課の事業でございます。この事業につきましては、平成23年度の改修実績がなかったため、対象から外させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

それでは、説明に入らせていただきます。表の中に選定いただいた委員のお名前と選定理由を記載させていただきました。選定いただいた事業は、77事業でございました。

その内、No.5「行政改革事業」やNo.13「滞納整理事業」など個別の事業で提案された事業が 33 事業ございます。

No.6「ICT 推進事業」やNo.24「福祉の拠点づくり事業」など統合の視点やその他の視点など複数の視点の提案をいただいた事業が 14 事業ございます。

No.7「セキュリティ対策事業」やNo.75「企業経営改善相談事業」など統合のみの視点の提案をいただいた事業が 28 事業ございました。

資料 7 の中から、概ね 50 事業を選定いただく訳でございますが、50 事業という数字に事務局としてこだわっておりませんので、あくまで市民投票にかけるべきとお考えになる事業を選定いただければと考えています。

また、皆様のご提案全てに適う選定ができればよいのですが、難しい部分もございますので、委員会として調整のうえ、選定いただきたいと思います。

資料の説明は、以上でございます。

・行革・政策監

76 事業につきまして、50 事業に向けての選定作業に入らせていただきますが、選定作業の取り回しにつきましては、構想日本政策スタッフの田中様にお願いしたいと思っておりますのでお願いいたします。

・構想日本田中氏

まず始めに、50 事業の位置づけについて再確認したいと思います。形式的に全事業から 180 事業程度を絞りました。その中から安城市として対象とする 11 事業を選んで、それを除いた 170 事業程度の中から委員会として 13 事業を選んでいくことになります。その過程において市民として関心があるのか、市民としてどのような問題意識があるのかということを聞くための 50 事業を選んでいくことになります。今日は最終的な事業を選ぶわけではありません。あくまで市民の声を聞く 50 事業のリストアップをしていくことが今日の選定になります。市民投票を行うのに 170 事業ではボリュームがありすぎるので、50 事業ぐらいがいいんじゃないかということですので、目安ということでお考えいただければいいかと思います。

170 程度の事業から皆さんで選ばれた 76 事業のリストにつきましては、構想日本荒井とも見させていただきました。分野としては偏りもなく、満遍なく選ばれており、施設であったり、市民サービスであったり、幅広く分布されているように

思います。市民投票については、このリストの中から選んでいくということによろしいでしょうか。このリスト以外から、この事業は入れたほうがいいんじゃないかと思われるものはありますでしょうか。

・委員

(意見なし)

・構想日本田中氏

では、この76事業からしぼっていききたいと思います。構想日本で整理をさせていただきました資料7-1をご覧ください。個別の事業で提案された事業が33事業ありました。複数のまとまり、類似や統合の視点で提案された事業があります。それが別添の資料になります。複数の事業のまとまりをここでは14の事業群と呼ばせていただいております。この事業群を個別にみさせていただきましたが、必ずしも全て統合できるものではないなと構想日本では考えまして、事業群を3つのパターンに類型させていただきました。Aは、「整理・統合」することで効率的な運営を行える可能性がある事業群、つづいてBは、類似している事業がなrandているのですが、これは予算の費目で形式的に分けたものであって、統合してもスケールメリットがないのではないかと構想日本で考えている事業群です。ここの群は、似ている事業が並んでいるので、代表してどれか1事業を選べばよいと考えています。つづいてCですが、こちらも整理・統合が難しいのでは考えています。Bのように個別の事業が似たような論点を持っている事業ではないので、個別事業としてピックアップしてはどうかと考えています。

それぞれ14事業群あったわけですが、2ページ目の裏面に記載してあります。Aは、福祉関係施設ですが「No.24 福祉拠点づくり事業」、「No.25 地域福祉センター建設事業」については統合のスケールメリットを踏まえて全体的に見てどのような配置を考えていくのかという視点でから整理できるのではないかなと考えられる事業となります。

つづいてBですが、公園についてはイレギュラーになるので後ほど説明します。「歩道整備事業」、「小学校、中学校維持管理事業」、「下水道料金、負担金徴収」、「情報システム」と「公園緑化関連」はたくさんの事業をあげていただいたので、No.106からNo.108まで、No.110～No.112については類似事業として扱えるのではないかと考えています。

Cの事業群ですが、「公園、緑化関連」のうち109堀内公園・113街路樹・114樹林は個別に取り扱ってはどうかと考えています。「商工団体経営改善支援」、「文化財

啓発、調査」、「交通安全や防犯に対する意識啓発」、「高齢者介護」、「ごみ回収、資源化」、「受水、浄水、配水」、「高齢者元気施策」、「道路修繕、維持管理」こちらの事業群に含まれる事業については個別事業として取り扱ってはどうかと思っております。このような整理をすると 1 事業群と 26 事業になります。もともと個別事業で選ばれている 33 事業を追加すると、リストとしては 1 事業群と 59 事業になります。選択肢としては 60 になります。当初予定の 50 事業よりは多くなりますが、個人的には許容範囲だとは思っていますが、ここは議論の論点になろうかと思えます。もし、事業数を絞るようであれば 2 ページの下にも書いてあるように、「文化財啓発、調査」、「交通安全や防犯」など 5 事業群を B の類似事業というように代表の 1 事業をピックアップするという取扱とする考え方もあります。

整理の考え方は以上です。疑問点等ありましたらお願いします。

・委員

A 事業群の福祉関係施設についてはどのように市民投票に出していくのですか。

・構想日本田中氏

A 事業群の 2 事業をセットで市民投票に出すことになると思います。

・委員

B のほうはどうやって、市民投票に出していくのですか。

・構想日本田中氏

類似しているということで代表とする事業を前面に出して、かつこ書きなどで類似事業を表示するなどして、当日の事業仕分けをする事業は代表とした 1 事業で行います。他の事業も同じような論点で見直してくださいというメッセージを出していくのはいいと思います。

・事務局（経営管理課長）

今のケースは統合ありきの議論ではなく、代表を出して判定結果を横展開していくことになります。

・構想日本田中氏

統合ということで全体をパッケージにして議論するのは、この中では A の事業群ということになります。

・事務局（経営管理課長）

非常にわかりにくい部分であり、今回の非常に重要な点でもありますので、統合の視点での提案が多かったものですから、話を聞けば、同じ係の同じ担当がまとめてやっているのだから統合しなくてもよいとか、やはり、統合によりまとめて

発注できるのではないかなどの考え方はあるかと思いますが。

- ・ 委員

B 事業群ですが、例えば小学校と中学校をまとめれば（効率的）になるのではと単純に考えて出したので、管理上で分けただけで、何も問題がないのであれば、他の点でも意見があるわけではないので、これはなしにしてもよいのかなと思います。

- ・ 構想日本田中氏

小学校、中学校は費目として分けていますが、論点としては横展開できる部分はあると思いますので、（代表 1 事業を挙げても）よいと思います。

- ・ 委員

全部をやるのではなく、代表の 1 事業をやるのならいいんじゃないでしょうか。

- ・ 事務局（経営管理課長）

小中学校ですと、分けて発注しているものもあれば、スケールメリット狙って発注しているものもあります。同じ係で担当者が行っているので、合体という視点でなく、中学校で問題があれば、小学校にも問題が通じるのではという視点で選ばれるのならいいでしょう、ということだと思います。

- ・ 構想日本田中氏

市民にどのような関心があるのかを聞く場であるので、幅広く意見を聞くことが重要だと思います。疑問点だとか、これは B でいいのか C でいいのかだとかの話も含めて何かありますでしょうか。

- ・ 委員

確かに小中学校の施設管理の件は同じ問題があると思いますが、例えば、「歩道・通学路整備」などは、仮に歩道整備を代表にした場合、逆に通学路整備に問題があるという意見があるかもしれません。最終的に仕分けを行う場合は、二つをまとめるなどしてもよいかもしれませんが、選定の段階においては、委員会で代表を決めずに、市民の方にこの中で一番問題と思っているのかを聞いたほうが良いと思います。

- ・ 構想日本田中氏

代表を決めずに、代表をどちらにするのも市民投票を経た上で、最終的な選定のところでやればいいということですが、私も確かに、そのほうが市民の意見を聞けるのでいいのではと思います。どういうふうに投票してもらうのかの表示のしかたについて誤解を招かないようにする工夫が必要だと思います。

- ・ 委員

インターネット投票が難しくなりますね。Bの事業群は事業群にチェックするのではなくて、候補事業のどれかチェックするようにすればいいのではないのでしょうか。

・委員

多くなってもかまわなければ、特に 50 事業に囚われなくてもよいのであれば、全て出して、選定の際に群のものをまとめて、最終的に市民に提示するようなこともよいのではないのでしょうか。

・委員

事業群は示した上で、リスト全ての76事業から選んでいただければよいのでは。

・事務局（行革・政策監）

皆様のご発言をきいておりますと、絞りこまずに市民の意見を聞いたほうがいいのではないかという意見があり、事務局サイドからは、シンプルに投票に出していきたいという思いがあります。議論された群のグルーピングを明記するのか。明記することによって投票者にこちらの意図が通じるのかどうか。

・委員

市民感覚としては、それぞれ思いがあり、関連性を示さずにこのまま出して、選ばれた中から委員会でグルーピングを考えればいいと思います。市民が混乱してしまいますので、なるべくシンプルがいいと思います。

・構想日本田中氏

市民投票が最終的な事業選定ではなく、委員会として参考にしながら選ぶという形で、市民投票は一覧順でもよいのではというご意見でした。

・委員

このABCの整理はわかりやすいので、委員会で選ぶときに意識して選べばよいと思います。

・事務局（経営管理課長）

統合の視点で提案いただいた事業が多かったわけですが、委員の皆様は統合の視点でお選びになった、ただ、市民は1事業ずつ選んでいきますので、あくまで統合ではなく各事業の中身についての議論になるので、各委員の方にご承知いただければいいと思います。

・構想日本田中氏

選択肢の幅が多い公園や小学校中学校などは、投票の数が多くなるかもしれませんが、バイアスがかかって少なくなるかもしれませんが、委員の皆様が認識できて

いればいいと思います。

- ・ 委員

例えば、小学校中学校の維持管理について（投票数を）全部足したものが、小学校中学校維持管理への関心が高いんだということで選んでみてはどうかなと思います。

- ・ 構想日本田中氏

「小中学校維持管理」では6つの事業の選択肢がありますが、市民が一人1票投票でき、代表を決めて1事業を投票に出してしまえば、選択肢が一つになり、他分野に4票を入れることができますが、このような形で出すことで、一分野に集中してしまうことも否めない部分もあります。

- ・ 委員

76事業あるなかで、5票全てをいれてきたということはそれだけ思いが強いということだと思います。

- ・ 委員

我々だけで決めるのではなく、市民の方の意見が大事なものだと思います。18万人の意見のまとめのお手伝いだと思えば、提示だけあとは市民の方のご意見を伺ってから選定したほうが良いと思います。

- ・ 構想日本田中氏

それでは、このナンバー順に76事業を投票にかけて、出てきた市民投票の結果と資料7-1の考え方を参考に13事業を選んでいくということによろしいでしょうか。

- ・ 各委員

（異議なし）

3 その他

- ・ 新井副市長あいさつ

今回の委員会の選定については、頭の整理が大変だったと思います。しっかりした議論をいただき、方向も明確に出たということでありがとうございました。

76事業を全て出して市民の方の意見を聞いていこうということが、そのあとの仕分け委員会で選定ができるようなデータをきちんと集めるといことが事務局の仕事だと思っております。市民の方にもPRをしてまいりますので、皆様方も周りの方にPRしていただきたいと思います。

これがスタートで、今年の暑い夏までの作業が始まったわけですので、いろいろお忙しい中でお力添えいただきますようよろしくお願いします。

・事務局（経営管理課長）

心配をしていました統合の件ですが、選定のプロセスを共有できたということで一番大事でありまして、ほっとしております。

さて、次回委員会につきましては、6月19日（火）午後2時30分から本庁舎大会議室にて開催する予定をしておりますのでよろしくお願いします。

次回は、市民投票の結果踏まえ、13事業を決定いただくことになります。それで全て24事業が決まりまして、次のステップに移ることができますのでよろしくお願いします。

・事務局（行革・政策監）

以上をもちまして、本日の第1回安城市事業仕分け委員会を終了いたします。大変ありがとうございました。